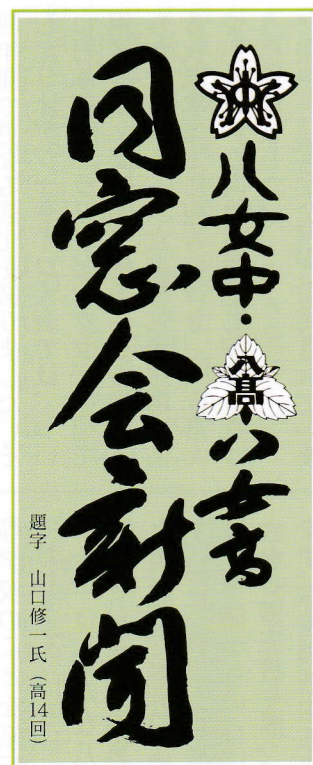




第 18 号

発行日／令和2年8月20日
 発行／八女中・八女高同窓会
 TEL(0942)53-4184 FAX 52-0341
 編集／八女中・八女高同窓会事務局
 〒833-0041
 福岡県筑後市大字和泉 251
 福岡県立八女高等学校内

八女中・八女高同窓会

第七代会長 就任挨拶



第七代会長
 宮原 恭盛
 (高18回)

令和元年五月の同窓会総会で、下川泰会長の後任として就任いたしました。下川前会長は、十三年間の長期に亘り、母校と同窓会の発展に貢献され、功績は偉大で尊敬いたします。前会長の足跡を学び、役員の皆様にご指導をいただき無事に初年度を終えました。

本校の同窓会は、初代会長、松井栄興氏(中一回・昭和三十三年四月就任)に始まり、会則は古く、大正十三年八月三日に制定されました。昭和・平成・令和と長き時を刻んでおります。学び舎は明治四十一年四月

福岡県八女中学校開校許可、第一代校長平井政愛氏就任と「質実剛健」の校訓、「文武両道」の校是に堂々たる歴史を歩んでいます。

同窓会会員は令和元年度卒業生二二三名を含め二万九二〇三名の大会員となりました。支部も地元の筑後支部を筆頭に、八女支部・広川支部・立花支部・大木支部・八女東部支部・久留米支部・大牟田支部・福岡支部があり、県外は関西支部・関東支部の二支部で各支部には支部長を中心に各役員会が組織され、毎年支部総会が活発に開催されています。十数年前から前会長の発案により支部長会が発足され、母校の発展に如何に貢献するか、支部総会の報告等活発な意見が交換されます。同窓会の運営ですが、就任一年目を

終えたばかりですので、前例を踏襲し役員の皆様と相諮りながら進めて参ります。

同窓会は、親睦・懇親・母校・生徒への支援が一般的ですので、母校・生徒の為には八女高校サポート基金や電子黒板・タブレット等を寄贈し、激変する現代社会の授業に対応いただきたく別府校長にご依頼しました。また例年大同窓会当番の皆様より金一封を贈呈戴き奨学金制度を設け、苦学の生徒諸君若干名に支援いたしております。大同窓会当番の皆様には感謝の念に堪えません。親睦・懇親も大切な催しで、年一回の大同窓会・支部総会で懐かしいクラス仲間や先輩後輩との名残尽きない語り合いは元気の源です。「また来年も健康で参加しよう。」との気持ちをもちただけたら光栄です。同窓会の皆様、新会長に叱咤激励とご指導を宜しくお願いいたします。

今年は思いがけない新型コロナウイルスの為に、大同窓会総会・懇親会や各支部総会のほとんどが中止となり非常に残念です。昨年より実行委員会の皆様は、関東支部や関西支部、県内の各支部に大勢で出向き、何が何でも「輪」をテーマとした二〇二〇年の大同窓会総会を成功させようと尽力されました。また大同窓会中止の無念

さを抱きつつも、次年度開催の為に後輩に引継ぎを行っていただきました。この様なご時世で「新しい生活様式・デリバリー・テイクアウト」等の言葉も流行りました。「そうだ、八女高同窓会へ行こう。」を同窓生の合言葉として次年度の大同窓会・各支部同窓会総会・懇親会の開催を祈念いたします。

宮原恭盛会長プロフィール

昭和二十二年十月二日生 七十一歳

【学歴】

宗教法人水田天満宮附属水田幼稚園卒園
 筑後市立水田小学校・水田中学校卒業
 福岡県立八女高等学校卒業
 國學院大学文学部神道学科卒業

【職歴】

西日本短期大学附属高等学校副教頭
 【現職】(令和元年度)

福岡県神社庁理事

福岡県教育関係神職協議会会長

全国天満宮梅風会福岡県支部長

筑後神職会副会長

筑後商工会議所常議員

水田幼稚園園長

水田天満宮宮司

【座右の銘】

山岡鉄舟「心外無刀」

【剣歴】

剣道教士六段

第三十回三重国民体育大会出場

全国教職員剣道大会出場

障害者スポーツの 振興を願って



元高校教諭

井上 五十八

(高28回)

私は、二〇〇九年にパラリンピック柔道女子日本代表監督を拝命し、二〇一二年ロンドン大会、二〇一六年リオデジャネイロ大会で指揮を執りました。私は、八幡中央高校、八女工業高校で二十数年間、主に柔道女子選手の育成に携わった後、福岡高等視覚特別支援学校に勤務し、そこで視覚障害者柔道と出会いました。そのような経歴から、初の女子監督として重責を担うこととなりました。就任当時はパラリンピックの認知度は浅く、男子に比べると女子のレベルは低く、パラリンピックに出場しても入賞がやっとという現状でした。世界レベルに追いつくために多くの国際大会で経験を積ませ、国内での強化合宿を続けました。しかし、ロンドン大会では五位入賞者が二人という結果に終わり、その後の四年間で更なる強化を図りました。そしてリオデジャネイロ大会では、ついに日本初のパラリンピック女子柔道で銅メダル（廣瀬順子選手）を獲得しました。帰国し、八女高時代の恩師である秋原孝先生に報告に行き、大変喜んでいただいた時は、恩返しができたように思いました。

来年は東京大会が予定されています。

す。私は監督を退きましたが、選手や関係者の皆様のご活躍を応援すると共に、東京大会後も障害者スポーツのより一層の振興を願っております。最後に、八女高柔道部の復活を期待しております。

学校創立百十二周年の 記念すべき年度を、 「記憶に残る一年」に



校長

田中 茂

(高32回)

この度、春日高等学校より参りました校長の田中茂と申します。どうぞよろしく申し上げます。学校創立百十二年目の本年度、校長として赴任できましたことを、誠に光栄に思うとともに、責任の重さを痛感しております。

八女高等学校の二万九二〇三名の同窓の皆様方には、政・財界や法曹界、学問・芸術などの各界・各分野で、地域はもとより全国をリードする活躍をされながら、母校である八女高等学校のことを気にかけていただいております。

今年度は、新たな八女高等学校を更に継承・発展させるための営みを次々と実施して参りたいと考えております。偏に、宮原会長様を始め同窓会会員の皆様からの日ごろから本校に多大なる御支援を賜っているお陰であります。深く感謝申し上げます。

八女高等学校創立百五十周年に向け、学校の充実発展に生徒、職員一丸となり全力を挙げて邁進してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます、御挨拶いたします。

支部だより

(令和元年度活動報告)

関東支部

第九十回支部総会・懇親会開催

関東支部長 塚本 享(高19回)

令和元年六月十五日「喜山倶楽部」にて就任されたばかりの宮原恭盛会長と別府校長を来賓としてお迎えし、高二回生の大先輩から高七十一回生の現役大学生まで総勢三百一名が一堂に会し、盛大に開催されました。

今年度は、第九十回の記念すべき節目に当たり、同窓会の運営や発展に多大なる貢献をいただいた大先輩二名の方、重富吉之助様(高4回)、

内田和宏様

(高8回)に、

同窓会の思

い出などを

寄稿いただき、

出席者

全員に配布

致しました。

その寄

稿文は、同

窓会HPに

も掲載して



いますのでご覧下さい。

また、毎年恒例のイベントである野田徹氏(高45回)のミニライブでは、二名の飛び入りセッション演奏や、会長・校長を交えたダンスなどで会場一体となり盛り上がりしました。

今年も当番幹事(高42回)の趣向を凝らしたおもてなしで、皆満足な笑顔で帰られました。

【その他支部活動報告】

●令和元年十月二十一日、令和二年五月十九日懇親ゴルフコンペ「東ゆうかり会」開催。

●令和元年十月二十日第十回「東京八女ふるさと会」、令和二年二月十五日「第五回筑後市ふるさと応援団総会」など地元行事の支援活動。

●その他、東京福岡県人会の「同窓会役員交流会」に参加、他校と同窓会運営の情報交換を行っています。なお、毎年八月初旬に開催の「在校生東京研修」の支援活動は、台風接近により令和元年は中止。

福岡支部

もつと楽しく、もつと有意義に

福岡支部長 加藤 久(高25回)

令和元年度、八女中学・八女高校同窓会福岡支部総会は、令和元年九月二十日恒例の「八仙閣本店」において、宮原恭盛会長、別府校長、城戸幹事長をはじめ約一〇〇名の参加者で盛大に開催されました。大同窓会の当番幹事であり、高四十三回生には大変お忙しい中、受付等でご協力いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

記念講演は、同窓生でもあります

藏内県議が大変お忙しいところ、予定を変更してまで快く引き受けていただきました。前回の県知事選挙、福岡県政全般、筑後地区の歴史、自身の八女高との関わりなど、普段聞けない大変興味深い話を伺いました。このようなお話が聞けるのも同窓会ならではのことでありと思います。

またこの度新しく就任されました、宮原会長は、下川前会長の後任として抱負などをお話いただきました。長い間会長をお勤めいただきました下川前会長大変ご苦勞様でした。この場を借りて御礼申し上げます。

どこの支部でもそうでしょうが、同窓会で一番苦勞するのが集客であります。全く無関心の人、一度は来たけれどももう来なかったの、来なくなった人、同窓会の存在すら知らない人様々であります。

本年の福岡支部同窓会では、福岡県庁や県警、西鉄、福岡銀行、西部ガス等にお勤めの同窓生を中心とし集客に大いに協力をしていただきました。それぞれが組織の重要ポストに就かれている方ばかりで、今後そのネットワークをさらに、縦横のつながりへと広げたいと考えております。簡単なことではありませんが、同窓会に参加してよかった、懐かしい顔に会うことができたという人が一人でも増えれば、自然と参加者は増えてくるものと確信しております。そのためにも、同窓会総会、懇親会を、みんなの力で、もつと楽しく、もつと有意義なものにしなければなりません。

福岡支部が、八女中学、八女高校をご縁に、新旧様々な方との出会いのチャンスを与える場になればと念願し

つつ、今後の支部運営をして参りたいと思っております。

◆八女東部支部

八女東部支部だより

八女東部支部長 木下 健(高21回)

令和元年十月十二日、八女東部支部第三回総会を黒木町「ふじの里」で開催しました。来賓として別府校長、大石副幹事長、丸山事務局長、大隈広川支部長、北島八女支部長、朽網立花支部長のご臨席を賜りました。会計の梶山氏および監事の片山氏による会計報告と会計監査報告、続いて役員改選を付議し原案通り承認されました。新たな役員は次の通りです。稗田昭一郎(顧問)、木下健(支部長)、堤浩由(会計)、茅島辰博(事務局長)、世話人として既存の五名に加え緒方都志能、椿原敦子、古賀真理、倉ノ下多恵、横溝明子の各氏。

特別公演は中小企業診断士の水田利昭氏(高19回)による「農業も経営革新の時代」六次産業化からAI農業へ。農業ひいては地方の活性化に向けた現状とこれからを具体的な事例を交えながら熱弁を振るっていただきました。大好評で準備した講演資料は全て参加者のお持ち帰りとなりました。

参加者は総会六十七名、懇親会四十六名。この数字は大同窓会実行委員や来賓の方々を含めた数字です。でやはり寂しいと反省せざるを得ません。発足間もない当支部の財政基盤は脆弱で会計は毎年、綱渡り状態です。支部会員も固定化できておらず総会参加者、会計収入共に増強が

必要です。当支部は星野、矢部、上陽、黒木の二村二町と範囲が広いことや学区制の制約で当地区から八女高に進学困難だった年次があるといったハンディを抱えております。が、役員一同一丸となって創意工夫を凝らし喜んで参加・活動いただける八女東部支部にしたいと存じます。同窓会本部ならびに先輩支部の皆様のご指導・ご鞭撻をお願い致します。

最後に、ご出席いただいたご来賓とOB各位ならびに懇親会を切詰めた予算で気持ちよく引受けていただいた「味万」のオーナー馬場光広氏(高30回)に改めて御礼申し上げます。

◆筑後支部

筑後支部長ご挨拶

筑後支部長 服部 喜代次(高20回)

八女高校同窓生の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。宮原恭盛前支部長の後を引き継ぎ、新たに筑後支部長に就任いたしました服部喜代次です。同窓会の支部長という身に余る大役を引き受けし、身が引き締まる思いでございます。

この度、同窓会の役員を年代ごとに選出し再編いたしました。温故知新という言葉があります。昔のことを研究して、そこから新しい知識や道理を見つけ出すことです。時代の流れとともに変化していくニーズに添えていくように、様々な意見を出し合い、取り入れ、熟考し、これから社会へと羽ばたいていく現役の学生たちが元気に学べるように支援して参りたいと思います。

会員の皆様の積極的な参加が本会の活性化に繋がります。私も微力ながら、母校の所在支部として活動を充実させ、少しでも会員の皆さまのお役に立てるように精一杯努めさせていただきますので、どうか引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

◆大木支部

支部長就任のご挨拶

大木支部長 北原 孝徳(高24回)

平成二十三年の大木支部創立に尽力された、故北島壽会長に続き、三期六年間、大木支部同窓会運営基盤を確立された眞邊泰則会長のご勇退を受けて後任として就任いたしました。もとより浅学非才の身ではありませんが母校の発展を願う一同窓生として精一杯努力して参る所存ですので、ご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

さて大木支部は、現在会員約三百四十名で、毎年十一月第一土曜日に定期総会を開催しています。また、秋季にゴルフ愛好会による大木支部ゴルフコンペを開催し、芝生の上での親睦を深めています。

令和初めての支部総会は、十一月二日天然温泉大木の湯「アクアス」にて、別府尚樹校長、新たに就任された宮原恭盛会長にご臨席いただき、会員、約四十名が集い開催しました。

大木支部総会では、毎回記念講演を行っており、これまで、「久留米藩の尊王攘夷先駆の指導者、真木和泉守の歴史像」、「パラリンピック柔道感動秘話」、「プロ野球球団裏話」、「華やかさを支える宝塚歌劇団員の

不斷の努力」など、心惹き込まれる魅力ある講演でした。

今回は、熊本の貴重な花、肥後六花（朝顔、菊、椿、山茶花、芍薬、花菖蒲の総称）である伝統の栽培方法を継承し続けている肥後朝顔涼花会副会長、松田一成氏をお招きしました。

江戸時代、武士の精神修養に園芸が奨励したことにより始まった肥後朝顔は、愛培家の努力により、種子を門外不出として、殆ど他品種との交流がなく、伝統の栽培方法が継承されています。育成・手入れを修練ととらえ、ひたすら花を愛する氏の心意気を感じました。

懇親会は、高四十三回生の皆さんを交えて、「来年は、同期生を一人誘って、支部総会の参加者を倍増させよう」と呼びかけあつて盛会裏に終わりました。

久留米支部

文化発表会に参加して

久留米支部長 近藤 信夫(高12回)

私は八女中・八女高校同窓会久留米支部のお世話をする中で、毎年本



肥後朝顔 司紅



肥後朝顔 春月

校の文化発表会に参加する機会を得ています。

どの部活を見ても感心・感動することしきりです。中でも我々の在学中には考えられない海外研修があり、昨年はイギリスでの交流研修報告を受けました。

今日は世界で活躍する日本人で、皆様もご存じの方もあると思いますが、『ドイツで神と慕われ教科書にも載った日本人医師』の事を紹介したいと思います。その日本人医師とは肥沼信次でありドイツ人にとって伝説の人です。戦後東ドイツは、社会主義体制の中で西欧諸国や日本との連絡が閉ざされていました。そんな状況の下、彼の消息は日本でも知られていませんでした。ベルリンの壁崩壊後、コエヌマノブツグ医師を探している旨の新聞記事により、五十二年ぶりに東京都八王子出身の肥沼信次と判明しました。

肥沼は一九三七年医師として二十七歳で、ドイツに留学し、ベルリン大学放射線科で研究に明け暮れていました。一九四五年ドイツ敗戦後、ソ連軍の命令で伝染病の発疹チフスが蔓延する、リーセン村のセンター長に任命されました。リーセン村はポーランド国境近くの小さな村で、センターは強制退去させられた大勢のドイツ難民の収容施設で医師もいない危険なところでした。その当時この地域に発疹チフスが蔓延し、近隣の医師は伝染病に感染することを恐れ医師不在の状況でした。医師として使命感に満ちていた彼はその

現場に赴いたのです。地獄と化した収容施設でわが身も顧みず献身的に患者の治療に取り組む日々でした。劣悪な環境の下、不眠不休の過酷な治療で彼の体力も限界に達し自身もチフスに感染し、貴重な薬は患者に与え壮絶な生涯を三十七歳で終えていたのです。その後、肥沼の謙虚な人柄は神と慕われ、今でもドイツの学校では肥沼医師の生き方について教えているそうです。

ドイツ統一後、肥沼の弟はドイツ政府の招待を受け、兄に命を救われた人々との出会いも果たしています。

死の直前「日本の桜が見たい」と言つて命果てた兄を偲び、弟は日本の桜の苗木百本を送り、今では市庁舎をはじめ墓周辺の桜と共に、道路に沿った桜並木は「肥沼通り」と命名されています。

生徒の皆さん、日本人として誇りを持つて活躍されることを祈っています。

関西支部

関西支部便り

関西支部長 高橋 政一(高18回)

支部総会・懇親会を十一月三十日「新大阪ワシントンホテルプラザ」にて宮原会長・別府校長を迎え七十名参加のもと開催しました。例年二百三十名程の関西地区同窓生に案内していますが、返事が返ってきたのは百名程度です。また高二十五回生から高三十二回生迄の参加は〇名でした。経済環境・少子化



八女支部

八女支部総会開催

八女支部長 北島 正道(高21回)

八女支部総会は十一月九日、「メモリアルホールいわ井」において約九十名のご参加のもと、宮原会長、別府校長をはじめ、多くのご来賓をお迎えして開催いたしました。

総会終了後、今回は講演会を開催いたしました。講師は八女中・八女高同窓会長であり水田天満宮宮司の宮原恭盛

等社会環境の変化もあると思いますが、年に一度の母校出身者の集いですので皆さんの参加を期待したいと思います。



様に「水田天満宮と尊攘運動」と題し、ご講演いただきました。

講演会では水田天満宮の歴史や天満宮が所有する多くの県指定文化財等の写真を用いられ、それぞれが持つ歴史的な背景を踏まえた解説を丁寧にお話しいただきました。あわせて幕末の勤

皇志士・真木和泉守保臣が、実弟である水田天満宮宮司大鳥居理兵衛のもとに塾居を命じられた際に、水田の若者たちが和泉守をどのように迎え入れ、どのように捉えていたかなどのお話もいただきました。幕末の歴史ファンが多い八女支部会員にとって、とても贅沢な時間となりました。

講演会終了後、恒例の懇親会ではおなじみの顔ぶれや大同窓会実行委員会の高四十三回生からも多くの出席があり、大盛会でした。

八女支部では参加者数の拡大を目指し、数年をかけ支部組織の充実を図っております。次回も多数の参加を呼びかけていき、益々の盛会を目指します。

◆ 広川支部

第五十九回広陽会総会開催

広川支部長 大隈 康子(高15回)

今年も二月十一日に広川町料亭「扇屋」で開催致しました。今年は五十三名が参加していただきました。特に今年は大同窓会本世話人の方が十二名、前世話人六名の方が出席いただいて会を盛り上げていただき、嬉しい限りでした。

総会には宮原会長、別府校長、下川顧問、八女支部長、八女東部支部長、立花支部長、筑後支部長にご臨席を賜りました。

宮原会長には現在の社会情勢、別府校長には、学校の現状を話していただきました。

総会に於いては、先ず物故者への黙祷を行い、その後、「暁」とときはの森の校歌を高らかに斉唱しました。本年は講演会を実施しました。広川町役場福祉課高齢者支援係の光本恭子様「健康寿命」についてご講演いただきました。どのようなしたら健康寿命を延ばすことができるか、「①運動②食事③睡眠④お口の体操」について具体的に話されましたが、例えば「②食事の項では、「まごはやさしい」という覚えやすいフレーズを使い、「ま」は大豆や小豆等の豆類、「こ」はごまやピーナッツなど種実類を食した方がいい等々分かりやすく、笑いを交えてお話しいただき、とても参考になりました。

来年は六十回を迎えます。何か記念になる総会にしたいと思っております。先輩、後輩を交えての懇親会

は総会を盛り上げる一番重要なことだと思います。会員になっていない方に呼び掛け、会員を増やしていきたいと思っております。

◆ 立花支部

泉が丘立花支部報告

立花支部長 朽網 英文(高21回)

令和元年度の活動報告と総会を令和二年三月八日に実行することで決定し、準備を進めて参りました。

支部活動そのものを見つめ直し、会員制としての規約づくり、役員構成、任期などの問題をこの一年何度か会議を持ち、新たな発足を目標に取り組んできました。

今回の総会を経て次の段階へ入る予定でしたが、新型コロナウイルスへの対処がそれぞれの活動団体に判断を求められ、我々世話人としても話し合いの結果、中止すべきとの声が多かったため、中止という決断をさせていただきました。全国レベルでの活動自粛がこのような形で小さな活動にも影響するのかと残念に思っています。このような状況の中、今年度の総会をどのように収めるかを判断しかねていますが、もう少し頃合いを見て役員会を開催し計画したいと思っています。

この度の事では日程が押し迫った時の判断でしたので、会場関係者、講演をお願いしていた馬場姉妹、来賓の方々には、ずいぶんご迷惑をおかけしたと思っています。

令和二年、新型コロナウイルスの影響がこれほど世の中を揺るがすとは誰もが思ってもいなかったでしょうが、何らかの対処法が確立するま

で自粛せざるを得ないでしょう。

久保実行委員長はじめ高四十三回生、他関係者の方々のご心労も多いと思いますが、全ての同窓生が収束を願いつつ、また大同窓会でのあの賑わいを夢みながら、じっと時を見守っていきましょう。必ずやコロナウイルス問題は解決します。

◆ 大牟田支部

いつまで続くか？

大牟田支部長 下川 斌弘(高11回)

一年のなかで二、三度頭を抱える時がありますが、それが三、四月の時です。

どうしたら支部総会に多くの会員が参加をしてくれるか心配になってくるのです(支部の確定会員数は四十三名)。総会開催日を四月の第三金曜日と決めていますが、決めてから大分月日が過ぎていきます。

毎年少しずつ会員が減少していく訳は、現在この大牟田地区から八女高校に進学する高校生はゼロ(新しく校区制が敷かれた昭和二十二年から)と会員の高齢化と年老いたため子供のところへの転宅です。

少しでも多くの会員が総会に参加してくれるか、日にち・曜日・開催開始時間等のアンケートを実施しましたが、芳しい答えを得ることが出来ませんでした。会員出席者十二、三名程度に同窓会会長・校長先生、その年の実行委員会を交えて懇親会が、大牟田支部の実情です。

毎年おなじ顔ぶれですが、和気あいあい、三時間ほど過ごして幕に

「輪」

令和二年度大同窓会実行委員会
実行委員長 久保 竜二(高43回)

この度、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、学校、同窓会事務局及び実行委員会と協議を重ねて参りましたが、参加者の皆様の安全と健康・感染拡大防止に配慮するため、大同窓会開催を中止させていただくことといたしました。

連綿と続いてきた伝統のある大同窓会を次に繋げるため、二年以上の月日を費やし一丸となって取り組んでまいりましたが九割方近くのところまで中止という苦渋の決断に至りました。

しかしながら、ひとつの目標に向けて同級生が三十年ぶりに結集し、今まで各々が培った経験を活かし協力しながらの二年間は、私にとつて他では経験のできないかけがえのない出会いを紡いだ時間となりました。

これから当番幹事のあり方について、後輩たちが独自に工夫し大同窓会の形態は少しずつ変化していくと思います。八女高に集う同窓生がひとつの「輪」となれますことを信じてやみません。

最後に、いつも温かく見守っていただいた宮原会長をはじめ同窓会役員の皆様、各支部の皆様、別府校長をはじめとする学校関係者の皆様、手取り足取り教えていただいた高四十二回生の先輩方、ここまで一緒に作り上げてきた高四十三、四十四回生の皆様のご指導、ご



支援、ご厚情に心より感謝申し上げます。八女中・八女高大同窓会がいつまでも繋がることを心から願っております。本当にありがとうございます。

「輪の想い」2021へ

令和二年度大同窓会実行委員会
副実行委員長 古村 和弘(高43回)

毎年、五月の最終日曜日に八女高校体育館で開催される「八女中・八女高大同窓会」に二〇一九年に初めて参加させていただきました。その時の体育館を埋め尽くす出席者とその熱気に圧倒され、私たちが本世話を担当する二〇二〇年大同窓会の責任の重大さを感じていました。

しかし、大同窓会は中止になりました。中止決定を聞いた瞬間、無力感と悔しい気持ちが入り混じった感情になりました。八百人以上が結集する大同窓会、密閉した体育館で同窓生達が親密に語り合う場面を想像すると、断腸の思いで中止を決定せざるしかなかったと思います。

私たち高四十三回生は二〇二〇年の大同窓会テーマを「輪」と決定して、これまで取り組みを進めてきました。諸先輩方から代々引き継がれ歴史ある大同窓会という大きな輪が、時を超えて世代を超えて卒業生の輪となつてつながつていく。そんな輪のなか「そうだ！八女高(大同窓会)に行こう!!」という気持ちになつていただけたらとの願いを込めたテーマでした。

同じ学び舎で同じ時間を共有した同窓生が、三十年ぶりに一堂に会して今日まで月一回のペースで大同窓会の準備を進めてきました。現在はそれぞれの立場にある同窓生が、大同窓会の成功という同一の目標に向かつて、様々な役割を協力し進めてきた経験は、これからの人生において、それぞれの人にとつてかけがえのない財産・思い出に

なつていくと感じています。

最後に、同窓会・学校関係者・各支部の皆さまのご指導・ご協力により、これまでの準備はできていたと思います。質実剛健の精神のもと、今後この伝統をしっかりと繋げていきますので、来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

第四十四回 泉が丘ゴルフコンペ

令和二年度大同窓会実行委員会
副実行委員長 樋口 晋哉(高43回)

本年四月二十九日に「八女上陽ゴルフ倶楽部」で開催予定でした泉が丘ゴルフコンペを、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催を中止させていただきました。開催の是非については、紆余曲折ありながらギリギリまでなんとか開催できないかと高四十三回生一同、協議を重ねてきましたが、参加者皆様及び運営する高四十三回生の安全と健康の確保が難しいと判断し、断腸の思いで中止とさせていただきます。一年に一度の八女高卒業生が会するこのゴルフコンペを楽しみにされてあつた多くの方々には大変申し訳なく思います。どうかご理解いただきますようお願いいたします。

私たち高四十三回生は、二年前に前世話からスタートし、ゴルフコンペ・大同窓会というゴールにはたどり着けず残念な思いではありますが、三十年ぶりに会う同級生、今回のお世話で初めて話す同級生と共に目標に向かつて、考え、語らい、笑いあいながら目標を達成すべく再び時間を共有できたことはすばらしいものでした。この二年間、ご指導いただいた高四十二回生の先輩方、忙しい時間の中で協力してくれた高四十三回生には感謝いたします。来年はゴルフコンペ・大同窓会共に盛会に開催されることを祈ります。

「大同窓会への想い」

令和元年度大同窓会実行委員会
実行委員長 馬場 慎哉(高42回)

はやいもので去年の大同窓会から一年が経ちました。その節は大勢の方にご来場いただき又、たくさんの方の労いの言葉をかけていただき誠に有難うございました。

私自身、最初は「いったい誰の為に...何の為に...」という想いを抱きつつスタートし、次第に「後輩達の為に、母校の為に」と自分に言い聞かせ活動してきました。

大同窓会に対する考え方は人それぞれで、私達も例外ではありませんでした。この事はこれから当番幹事をする後輩達も必ずぶつかる壁であります。幸いにして高四十二回生はお互いの考えの違いを認めた上で、いったん各々の腹に納めて協力してくれました。大人の対応をしてくれた同級生達には感謝の気持ちで一杯です。

そして大同窓会をきっかけに仲良くなつた同級生がその後も集い親交を深めてくれていることを本当に嬉しく思っています。

いざ終わってみると誰の為でもない結局「自分達、そして自分の為だったのだ」と素直に思えるようになりました。最後にこの当番幹事期間中のいろんな方々との出会いに感謝し又、この経験を糧として、これから我が母校である「八女高校」を応援していきたいと思ひます。

本当に有難うございました。

Time trip

八女中
2021
113th Anniversary

あの頃のとときめきをもう一度



2021年 八女中・八女高大同窓会

2021/5/30【日】 総会：午前10時～
八女高等学校体育館 懇親会：午前11時～

賀実剛健

越しいただく皆様にも、八女中・八女高でドキドキ・ワクワクして過ごしたあの頃に時間旅行していただきたく、テーマを「Time trip」あの頃のとときめきをもう一度」とし、令和二年度大同窓会で発表させていただきます。

楽しみにしていましたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

今はまだ先が全く見通せない状況ですが、実行委員一同、一刻も早い終息を願いながら、万全な体制がとれるよう様々な検討を重ねていくところです。

私達高四十四回生が大同窓会の実行委員会を組織する年齢になりました。平成になつて最初の四月に入學した私達。ずっと先のことと思つていたことが来年度の話になっていました。卒業してもうすぐ三十年。実行委員会で同級生のみんなに会つと、それぞれ良い年を重ねていて、世話役の年齢に近づいていることを実感します。最初の実行委員会やその後の懇親会では高校時代の話に花が咲きました。いろんなことが鮮明に蘇つたり、そうでなかったり。でも話の内容はどれも楽しい思い出ばかりです。そこで、令和三年度の大同窓会にお

笑顔でお会いしましょう！

令和三年度大同窓会実行委員会
副実行委員長 隈本 伸也（高44回）

令和三年度八女中・八女高大同窓会のお世話を高四十四回生が担当することになりました。私達が、八女高校に入學したのは平成元年四月でした。平成の始まりとともにこの学び舎で賀実剛健・文武両道の校訓のもと三年間の青春を謳歌していました。卒業してから三十年程度が経ち、こうして母校に貢献できることをうれしく思っています。最初で最後の大同窓会のお世話をさせていただくにあたり、「せつかくやるなら皆で楽しもう！」を合言葉に高四十四回生一丸となり、令和三年度大同窓会に向けて準備を進めています。

令和三年度の大同窓会のテーマを「Time trip」あの頃のとときめきをもう一度」としました。青春時代を友と過ごしたワクワクした時間へタイムトリップしてみませんか。

来年、同窓生の皆さまと笑顔でお会いできるのを楽しみに、実行委員会一同、精一杯お世話をさせていただきますので、お誘いあわせの上多数の皆さまのご参加をお待ちしています！

「当番幹事を終えて」

令和元年度大同窓会実行委員会
会場委員長 江口 篤（高42回）

私達が担当した八女中・八女高大同窓会から早くも一年が経過しました。二年前のこの時期はまだこの重責を理解しておらず、同期の実行委員会の手助けという感覚で役職参加を決めました。

実行委員会の打合せを進めて行く中で歴代の先輩方の苦勞を学びました。数年前より参加させていただいた大同窓会の雰囲気を感じていたが、先輩方に喜んでいただける特別な時間を演出出来るよう実行委員会・会場委員会メンバーと詳細打合せを重ね、いよいよ本番の日を迎えました。

当日は懐かしい同級生と再会・和気あいあいとなる時間もありませんでした。が、ぶつつけ本番三十年振りの共同作業でお客様をおもてなしするという気持ちで懇親会を進めて行きました。懇親会場では大勢の同窓生に笑顔が満ち溢れ、お見送りの際に多くの労いや温かいお礼の言葉をいただき、準備に奔走したことも一瞬で忘れてしまうくらいの充実した一日でした。

八女高等学校を卒業して三十年、人生でこの様な達成感を同窓生と一緒に経験出来た事に感謝。この伝統を後輩へ引き継ぐ助力をしていきたいと思えます。

最後になりましたが、八女中・八女高大同窓生ならびに高四十二回同級生の益々の繁栄を祈念いたします。

令和元年度 進路実績

★**国立大学 健闘！ 合格者 96名** (準大学含む)

九州大学 1名 熊本大学 8名 福教大 6名

★**防衛大学校 一次合格 31名！**

★**私立大学 福岡大 過去最高の合格率**

西南学院大 23名 福岡大 103名

★**公務員等 38名 公務員、大健闘！**
地方自治体に多数の合格

令和元年度の部活動報告

九州大会出場

◎剣道部

全九州高等学校剣道大会 (7月6日、7日於：沖縄県)

女子個人 堤 花音 (3年) ベスト16

女子個人 水本 百香 (2年)

第36回九州高等学校選抜剣道大会 (2月15日、16日於：鹿児島県)

女子個人 水本 百香 (2年) 第3位

女子個人 重富 未来 (2年)

女子個人 末廣 佳瑛 (2年)

◎水泳部

全九州高等学校水泳競技大会 (7月13日～15日 於：鹿児島県)

200m背泳ぎ、800mリレー 本田 湧也 (2年)

800mリレー 入江 勘太 (2年)

800mリレー 中村 康介 (1年)

800mリレー 田川 元基 (2年)

全九州高等学校選手権新人水泳競技大会 (末弘杯)

(9月28日、29日 於：福岡県)

200m自由形、400m自由形、400mメドレーリレー、

400mリレー 入江 勘太 (2年)

50m背泳ぎ、100m背泳ぎ、400mメドレーリレー、400mリレー

本田 湧也 (2年)

200m自由形、100m自由形、400mリレー

田川 元基 (2年)

50mバタフライ 塚本 光星 (2年)

200m自由形、200m個人メドレー、400mメドレーリレー、

400mリレー 中村 康介 (1年)

400mメドレーリレー 樋口 楽人 (1年)

50mバタフライ、200m個人メドレー 久保田ひかり (2年)

50m平泳ぎ、100m平泳ぎ 大坪 莉子 (1年)

【運動部】

弓道部、陸上競技部、剣道部、サッカー部、卓球部

【文化部】

放送・弁論部、吹奏楽部、書道部

県大会出場

令和元年度 入試等合格者一覧

国公立大学・準大学含む	筑紫女学園大学	23	福岡工業大学	22	
横浜国立大学	1	純真学園大学	3	九州産業大学	25
九州大学	1	第一薬科大学	3	聖マリア学院大学	4
福岡教育大学	6	久留米工業大学	2	西南女学院大学	2
鹿児島大学	2	南九州大学	3	西九州大学	10
琉球大学	1	活水女子大学	1	日本文理大学	2
福岡女子大学	1	崇城大学	12	九州看護福祉大学	14
下関市立大学	1	帝京大学	11	短期大学	
宮崎公立大学	2	創価大学	6	中村学園大学	7
茨城大学	1	日本体育大学	1	短期大学部 他6校	
広島大学	1	関西大学	1	専門学校	
長崎大学	5	龍谷大学	1	久留米大学医学部	
大分大学	2	岡山理科大学	6	附属臨床検査専門	30
北九州市立大学	3	広島国際大学	2	学校 他22校	
福岡県立大学	3	津田塾大学	1	公務員	
山口大学	3	東京農業大学	2	国家一般	1
熊本大学	8	関西学院大学	2	税務職	3
佐賀大学	13	近畿大学	3	刑務官	5
宮崎大学	3	長崎国際大学	1	福岡県職	4
山口東京理科大学	1	熊本学園大学	1	福岡市職	1
長崎県立大学	3	大阪樟蔭大学	2	筑紫野市職	1
岡山県立大学	1	安田女子大学	1	筑後市職	1
熊本県立大学	3	東海大学	9	八女市職	1
防衛大学校	6	愛知工業大学	1	大木町職	1
私立大学		同志社大学	1	警視庁	1
福岡大学	103	京都女子大学	1	福岡県警	4
西南学院大学	23	吉備国際大学	1	大牟田市消防	1
中村学園大学	18	就実大学	2	自衛隊：航空学生	1
久留米大学	44	別府大学	2	一般曹候補生	5
福岡女学院大学	8	熊本保健科学大学	3	自衛官候補生	5
国際医療福祉大学	7	多摩美術大学	1		
福岡看護大学	2	中京大学	2		
九州女子大学	3	立命館大学	2		
九州栄養福祉大学	1	大阪大谷大学	1		
九州共立大学	1	広島工業大学	1		
				就職	
				日本郵便 他2社	

編集後記

同窓会新聞十八号は、大同窓会で皆様のお手元に届けられるように準備をはじめておりました。しかし、大同窓会中止となり、四月七日には、『新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言』が政府によりだされ、外出の自粛等で編集作業も一時中断いたしました。発刊の遅れにより、原稿をお寄せいただいた皆様の方には、原稿の修正等お願いしなくてはならないものもあり、非常に迷惑をおかけしました。

学校も、大運動会を始めとして多くの行事が中止となり、部活動も制限される中で、後輩達はどういう気持ちで学校生活を送っているのかと心配しておりました。しかし、時折学校を訪れるとこのような状況の中でも、できる範囲で一生懸命学校生活を送っている姿に大変勇気づけられます。私達も向日葵のように堂々と上を向いて、今できることを行いたいと思います。

最後になりましたが、編集に関わってくださいました多くの方々に感謝申し上げます。



令和2年度
大同窓会チケット

令和2年度大同窓会は、新型コロナウイルスの感染拡大の事情を考慮しまして中止とさせていただきます。

チケットを購入していただき、同窓生との再会を楽しみにしておられた皆様、本当に残念な思いをされたと思います。

今回お求めいただいたチケット(令和2年度のチケット)は次年度利用できませんので、大切に保管しておいてください。

ご連絡

令和2年度八女中・八女高
大同窓会チケットについて